



元気いっぱい活動したよ！ いいたてキャンプ

8月31日から一泊二日で、生涯学習課主催の「いいたてキャンプ」が行われました。開催場所は、「宿泊体験館きこり」です。

当日は、事前に申し込みをしていた3組の親子が、きこりに集まりました。木製の用具を使って火おこしをしたり、バーベキューをしたり、花火をしたり。キャンプならではの体験を通して、それぞれの親子が、夏休みの特別な時間を楽しんでいました。また、さまざまな活動で協力をしながら、親子同士も親睦を深めました。



キャンプの夜を
満喫しました

トレーニングルームで開催 体力・運動能力測定会

8月18日に、「いいたてスポーツ公園」で実施された「体力・運動能力測定会」。村のスポーツ委員が測定員を務め、握力・長座体前屈・反復横跳び・シャトルラン(往復持久走)などの測定を行いました。測定結果がスポーツ庁の調査にも生かされることから、調査への協力者も、この測定会に参加しました。スポーツ庁は、日本人の体力・運動能力について、全国一斉の調査をしていて、県を通じて村へも調査の依頼が来ています。今回の調査協力は、震災後初めて再開されたものです。



測定は和やかな雰囲気で行われました。測定結果から分かる「体力年齢」も今後の生活の参考に！

手づくりの灯りを楽しもう オイルキャンドル講習会

9月10日、ほばらや生花店(川俣町)に勤務する佐藤厚子さんを講師に、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「オイルキャンドル教室」が開かれました。オイルキャンドルとは、プリザーブドフラワーと専用オイルを容器に入れてつくるキャンドルです。19人の女性が参加して、教室は和やかな雰囲気で行われました。初めにオイルキャンドルについて説明を受け、それぞれ好きなプリザーブドフラワーを選んで製作をスタート。イメージをふくらませながら、素敵な作品を完成させました。



「楽しかった」と参加者の皆さん。
前列中央が講師の佐藤さんです



あったか笑顔の交流 第2回「福祉チャリティー祭り」

8月25日、交流センター「ふれ愛館」で、第2回「福祉チャリティー祭り」が開かれました。この催しは、飯館村社会福祉協議会の主催。「いきいき楽しい いいたて福祉まつり」をテーマに、関係団体やボランティアグループが、活動報告の展示などを行いました。また、数多くの協力団体が、趣向を凝らした飲食コーナー、音楽や舞踊のステージで来場者をもてなし、バザーや特産品の販売も行いました。会場内はどこも、やさしい笑顔の交流でにぎわっていました。



協力団体の一つ「奈良楽しくコーラス」によるステージ。音楽を通して来場者と交流しました

投打にわたり活躍するも惜敗 市町村対抗軟式野球大会

9月7日に開幕した第13回市町村対抗福島県軟式野球大会。飯館村チームは、同15日、伊達市の「ほばら大泉球場」で、1回戦に臨みました。村チームは、対戦相手の大玉村チームに対して、草野隆洗投手の好投、積極的な走塁などで、優位に試合を展開。小刻みに得点を重ね、4対2でリードしたまま最終回を迎えましたが、好機を生かした大玉村に3点を奪われ、あと一歩のところまで二回戦進出を逃しました。惜しい試合でした。選手皆さんの活躍、おつかれさまでした。



さわやかな青空の下で、熱戦が繰り広げられました。左上の円内は先制のホームに滑り込む草野投手

“よい仕事おこし”フェア 実行委員会と包括連携協定

8月23日、村は、全国の信用金庫でつくる「“よい仕事おこし”フェア実行委員会」と、地域振興・復興促進に向けた包括連携協定を結びました。締結式は、村役場で行われ、同委員会の事務局を務める城南信用金庫の川本恭治理事長、あぶくま信用金庫の太田福裕理事長、菅野村長が協定書に署名しました。10月7・8日には早速、東京国際フォーラム(東京都)で行われる「“よい仕事おこし”フェア」に村が初出展する予定で、村内産のカスミノウやトルコギキョウの展示も行われます。



左から、門馬副村長、菅野村長、太田理事長、川本理事長、までい大使の佐川旭さん。出席者の記念撮影で